

令和4年度 文化スポーツ部組織目標

組織名	文化スポーツ部	部長	高田 章子
組織の目的・方向性	<p>市民が心身ともに健やかに暮らしていけるよう、文化・スポーツの振興を図るとともに、本市の歴史的資産の保存・継承に取り組みます。</p> <p>また、文化・スポーツの持つ多様な価値を、観光やまちづくり、福祉、国際交流などの分野とつなぎ合わせ、社会課題の解決手法に活用していきます。</p>		

文化スポーツ部組織目標

コロナ禍において、多くの市民が長期間行動制約を余儀なくされた経験は、文化・スポーツが人々の心を癒し、明日への希望を与える必要不可欠なものとして、再認識される機会となりました。

より多くの市民が文化芸術活動やスポーツ活動に親しむ機会を提供するとともに、次代を担う子どもたちの育成に取り組んでいきます。

また、貴重な文化財を大切に保存し、次世代へ着実に継承するとともに、これらを積極的に公開し、活用していきます。

さらに、文化・スポーツの持つ多様な価値を多面的に活用することで、本市の魅力発信や共生社会の実現を図ります。

この方針のもと、今年度は、次の3つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 今後の文化振興と文化芸術の持つ多面的な価値を市民と共有し、活用していくため、次期の（仮称）文化創造ビジョンの計画的な策定に取り組みます。
- 2 感染症対策の徹底を図りながら、4年ぶりの開催となる新潟シティマラソンが安心・安全で魅力のある大会となるよう取り組みます。
- 3 旧齋藤氏別邸庭園などの文化財を、次世代に着実に継承できるよう適切に保存するとともに、公開と活用を図ります。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	3	達成数	3
取組結果	1 市民の文化に関する意識の現状や将来世代の意向の把握のため、市民アンケート及び大学生ワークショップを行い、次期ビジョンの素案の作成に活用しました。また、今年度は文化芸術団体と障がい者施設のマッチングの仕組みづくりに取り組むなど、両者の交流支援などの各種トライアルを通じて効果や課題などを検証し、文化芸術の特性がさまざまな分野に役立てられるよう、新たな仕組みづくりに取り組みました。				
	2 新潟シティマラソンについては、参加者、スタッフ等への体調・行動管理チェックシートの導入やエイド食の個包装化など感染症対策の徹底を図り、4年ぶりとなる大会を安心・安全に開催しました。また、新種目（ユニバーサルラン）の実施やファンランでの車いすランナーの受け入れを行うなど、大会の魅力を高				

	<p>めることができました。</p> <p>3 旧齋藤氏別邸庭園の整備工事をはじめ、旧笹川家住宅の整備に向けた基本計画原案の策定を進めるなど、文化財の保存に向けた事業を進めました。また、古民家、日本料理店舗などの国登録有形文化財への指定のほか、鳥屋野逆ダケの藪の指定 100 周年イベントや旧第四銀行住吉町支店の活用、市民による纏の展示への支援など文化財の公開と活用を図りました。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p>	<p>社会経済活動の再興に合わせ、より多くの市民が文化芸術活動やスポーツ活動に親しめるよう、引き続き、市民活動の支援と市民への機会提供を行うとともに、次世代の育成に取り組んでいきます。</p> <p>また、文化財の保存に向けた整備事業等を着実に進めるとともに、多様な主体との連携・協働により公開・活用を図ることで、市民が文化財の価値を認識できる機会を創出し、地域への誇りや愛着の醸成を図っていきます。</p> <p>今後も、文化・スポーツの持つ特性を多様に活用し、本市の持つ魅力の発信や共生社会の実現に寄与していきます。</p>